

上越地域在宅医療推進センター

第二回在宅療養支援機能 スキルアップ懇談会を開催しました

〇令和7年2月18日（火）19時より上越医師会館にて、第二回在宅療養支援機能スキルアップ懇談会を開催しました。大雪警報が出ていましたので、急遽の欠席もありましたが多くの方に参加いただきました。参加状況は、診療所医師会会員11名、地域包括支援センターケアマネジャー8名、居宅介護支援事業所ケアマネジャー17名、訪問看護ステーション看護師9名、上越市・妙高市行政3名、他1名、事務局3名、推進センターコーディネーター2名の54名でした。

〇懇談会の内容

- ▶ 訪問診療の実際（プレゼン）：揚石センター長
- ▶ 対談：「**ケアマネジャーの役割を知ろう**」

羽尾介護保険部副担当理事

熊木洋子（大潟居宅介護支援事業所）

齊藤拓志（知命堂病院指定居宅介護支援センター）

横田麻理子（居宅介護支援だいち）

- ▶ テーブル懇談と発表（8グループ）
- ▶ 全体のまとめ、アンケート記入

五十嵐介護保険部副担当理事に司会進行を務めていただき、定刻通り終了しました。

グループワークは地域性をなるべく考慮しました。地域包括支援センターのケアマネジャーさんにファシリテーターをお願いしました。どのグループも和やかで活発な意見のやり取りが行われました。

〇アンケート結果について（回収数43）

- 1) 懇談会の目的の理解
 - 2) 訪問診療の実際
 - 3) 医師とケアマネジャーの対談
 - 4) グループ懇談
 - 5) 全体評価 については5段階評価
 - 6) 開催日への希望
 - 7) 自由コメント（テーマ希望・要望など）
- でアンケートを行いました。

1)～5)に関しては、全体集計・職種別集計ともに
①十分できた ②できたを合わせた評価が90%以上を占めました。ケアマネジャー、訪問看護師からは、“お互いの思いや現状を理解する機会になった”“医師と直接意見交換ができ、今後に繋がられる”という意見が目立ちました。

医師のコメントを拾ってみました。

（１）記載されていた意見

- ▶ ケアマネジャーの利用者担当数の多さ、多忙さ、大変な気持ちがわかった
- ▶ なかなか訪問診療数を増やせないが努力したいと思う
- ▶ 自院のケアマネジャーとの連携の少なさを確認し課題だと認識した
- ▶ 訪問診療をしていない医師が多いこと、他職種連携の重要性を確認できた

（２）次回、取り上げてほしい内容など

- ▶ 連絡のやりとりの実際、工夫等をディスカッション
- ▶ 医療DXの使い方（介護DXはあるの？）
- ▶ 対談は、事前にテーマを通達し、質問を募集してみては？

（３）参加しやすい曜日は？

- ▶ 第1希望と第2希望の合計では火曜日が多い

その他、全体の要望

- ▶ 1月、2月は雪が多いので避けてほしい
- ▶ 今後も先生との懇談会があるとありがたい



アンケートのご意見も参考させていただき
次回の開催を計画します。医師会の先生方が
気軽にご参加いただける会になるよう、
工夫していきます。是非ご参加下さい。